

CentreNET® AT-承認メール
CentreNET® AT-承認メール Jr.

Installation Guide

©Copyright 1998-99 Allied Telesis

目次

1. はじめに	2
このマニュアルについて	2
2. 動作環境	3
3. インストールの準備	4
マルチユーザ（ネットワーク上に一括管理）の場合	4
シングルユーザ（ローカルディスクに管理）の場合	5
4. インストールメニュー	6
5. AT-承認メールのインストール	9
6. AT-承認メールの環境設定	17
メールサーバへの接続	22
7. Acrobat Reader のインストール	23

1. はじめに

AT-承認メールは、あらかじめ設定されたユーザ名でログインする方法（シングルユーザ）と、ユーザ名をログインする毎に指定する方法（マルチユーザ）とがあります。どちらを使うかは、インストール時に決定され、両者は1台のPCに同時にインストールしておくことはできません。ログイン方法を切り替えるには、再インストールする必要があります。なお、「AT-承認メール Jr.」もこの「Installation Guide」では、操作は同じになります。

このマニュアルについて

このマニュアルは、一般のクライアントユーザのインストールを対象に書かれています。管理者用ツールについては、別冊「ユーザ管理ガイド」を参照してください。また、使用方法の詳細については、CD-ROM内の「User's Manual」をご覧ください。（「4. インストールメニュー」を参照してください。）

2. 動作環境

対応パソコン

DOS/V(OADG)PC (Intel プロセッサのみ)
NEC PC98 シリーズ
NEC PC98-NX シリーズ

対応 OS

Microsoft Windows 95/98 日本語版
Microsoft Windows NT 3.51 日本語版
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

パソコンの資源

メインメモリ

Windows95 16MB 以上 (24MB 以上を推奨)
Windows98 24MB 以上 (32MB 以上を推奨)
WindowsNT 24MB 以上 (32MB 以上を推奨)

ハードディスク

14MB 以上 (20MB 以上を推奨)

3. インストールの準備

AT-承認メールはマルチユーザとシングルユーザの2つの形態で運用することができます。インストールの途中でどちらか選択することになります。

マルチユーザ（ネットワーク上一括管理）の場合

ユーザ名をログインする毎に指定する方法です。メールクライアント（パソコン）を複数のメールユーザが共有して使う場合に選択します。メール環境の情報は、ネットワーク上のファイルサーバに保存されます。あらかじめ、ユーザ情報の作成と、ネットワークドライブの割り当てを指定しておかなければなりません。ユーザ情報の作成は、管理者が行うものであり、クライアントのインストール時には、必要ありません。詳しくは、別冊の「ユーザ管理ガイド」を参照してください。

ネットワークドライブの割り当て

インストールする前に、各クライアントでユーザ情報の保管場所に指定したネットワークドライブを割り当てておきます。

1. Windowsのエクスプローラで、管理者用の「ユーザマネージャ」で指定した「全ユーザ共通フォルダ」をネットワークコンピュータから選択します。（そのフォルダがあるサーバにアクセスする権限があり、管理者によりフォルダが共有設定されている必要があります。）フォルダの場所と共有名は管理者にお尋ねください。

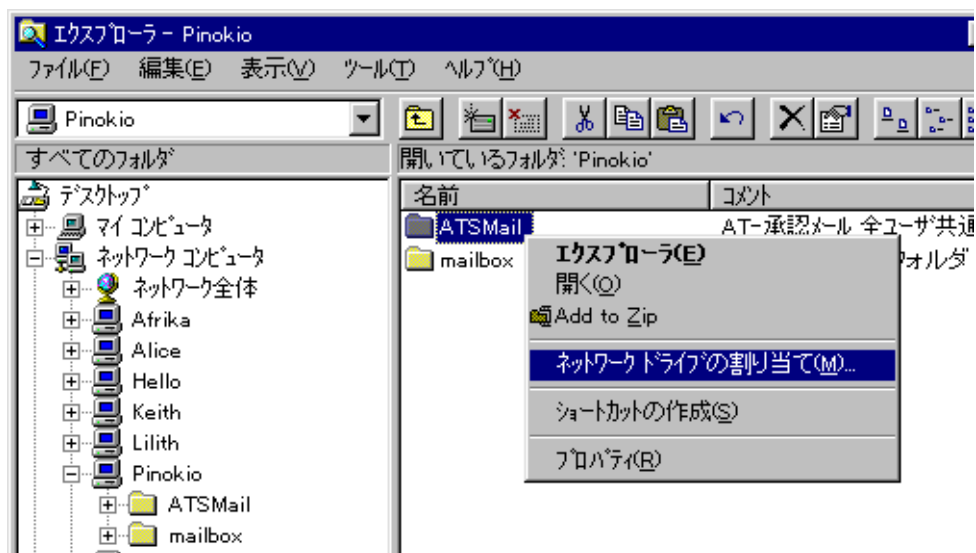


図 3-1

2. フォルダにネットワークドライブの割り当てをします。
 AT-承認メールはインストール時にデフォルトで M ドライブを割り当てられています。割り当てるネットワークドライブ名は、システム管理者にお尋ねください。
 下の例はサーバ「PINOKIO」のフォルダ「ATSMail」に M ドライブを割り当てています。

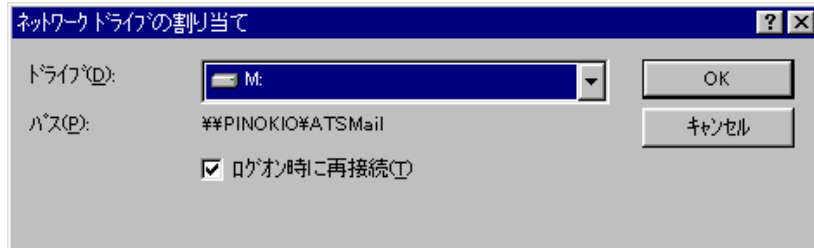


図 3-2

これでインストールの準備ができました。インストールには下記の情報が必要です。

必要な情報

- ・ログイン名、パスワード

シングルユーザ（ローカルディスクに管理）の場合

1人のメールユーザが1台のパソコンを占有して使う場合に選択します。メール環境の情報はメールクライアント（パソコン）のローカルディスクに保存されます。インストールには下記の情報が必要です。

必要な情報

- ・メールアドレス
- ・SMTP サーバのホスト名または IP アドレス
- ・メールサーバが受信プロトコル IMAP4 rev1 と POP3 どちらをサポートしているか
- ・IMAP4 rev1 サーバ、または POP3 サーバのホスト名または IP アドレス
- ・ログイン名、パスワード

- ・本書で説明されているインストール手順を実行するまえに、TCP/IPネットワーク環境（LAN またはダイヤルアップ）が正しく設定されていなければなりません。
- ・本書では IMAP, IMAP4, IMAP4rev1 はすべて同じ意味です。

3. WindowsNT 4.0 や Windows95/98 をご使用で自動起動の設定がされている場合、CD-ROM をドライブに入れると、自動的に「自動実行ユーティリティ」ダイアログが起動します。

WindowsNT 3.51 をお使いの方やWindowsNT 4.0、Windows95/98 で自動起動の設定がされていない場合は、以下の手順に従ってください。

- (1) Windows95/98、WindowsNT 4.0 の場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」をクリックします。すると、「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されるので、「名前」フィールドに「D:¥setup」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- (2) WindowsNT 3.51 の Service Pack5 以降の環境でお使いの場合は、「プログラムマネージャ」の「アイコン」「ファイル名を指定して実行」をクリックします。すると、「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されるので、「コマンドライン」フィールドに「D:¥setup」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- (3) Windows NT 3.51 の Service Pack5 以前の環境でお使いの場合は、D:¥Readme.txt に記載されている内容に従ってインストールしてください。Windows NT 3.51 をお使いの場合は、Service Pack5 をインストールすることをお勧めします。

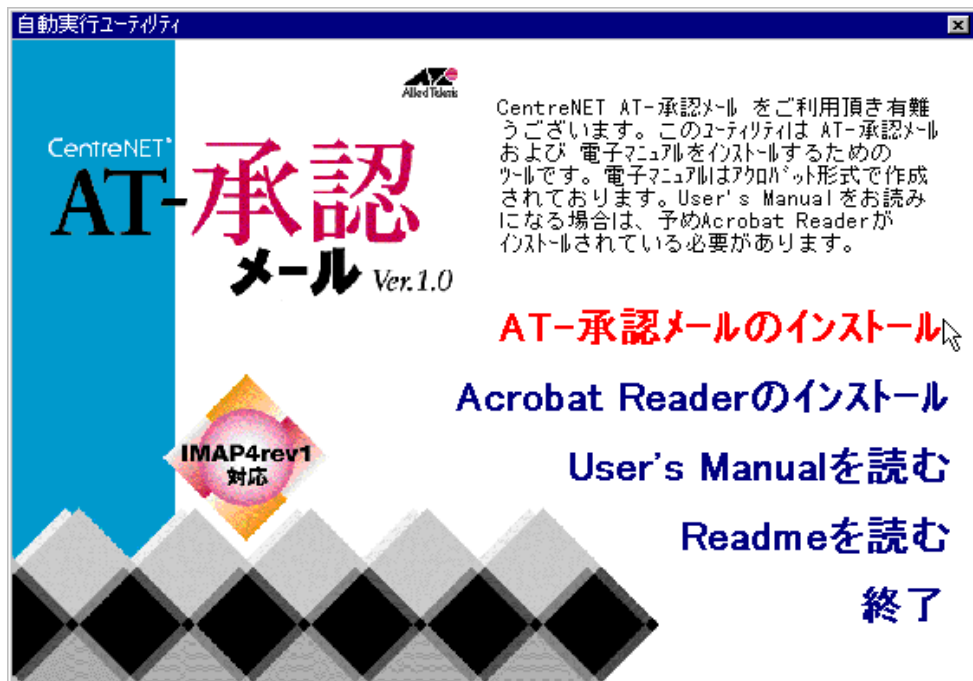


図 4-2

「自動実行ユーティリティ」ダイアログは、以下のような内容から構成されており、各メニューをクリックすることによって実行されます。

AT-承認メールのインストール

承認メールのインストールをします。

Acrobat Reader のインストール

User's Manual を読むためのプログラム「Acrobat Reader」のインストールをします。既に、お使いのコンピュータに「Acrobat Reader 3.0J」がインストールされている場合、この項目の実行は不要です。上記の「AT-承認メールのインストール」では Acrobat Reader はインストールされません。

User's Manual を読む

User's Manual を表示します。ただし、あらかじめ Acrobat Reader がお使いのコンピュータにインストールされていないとなりません。

Readme を読む

Readme (テキストファイル) を表示します。この Readme は、CD-ROM の構成やインストール時の注意事項について説明したものです。

終了

「自動実行ユーティリティ」を終了します。AT-承認メールのインストールが終了しても、このユーティリティは自動終了しません。必要な項目をインストール、または表示させた後、「自動実行ユーティリティ」を終了したい場合はこのメニューをクリックしてください。

4. AT-承認メールをインストールする場合、一番上の「AT-承認メールのインストール」をクリックしてください。

5. AT-承認メールのインストール

1. 「自動実行ユーティリティ」ダイアログで「AT-承認メールのインストール」をクリックすると、まず以下の画面が表示されます。

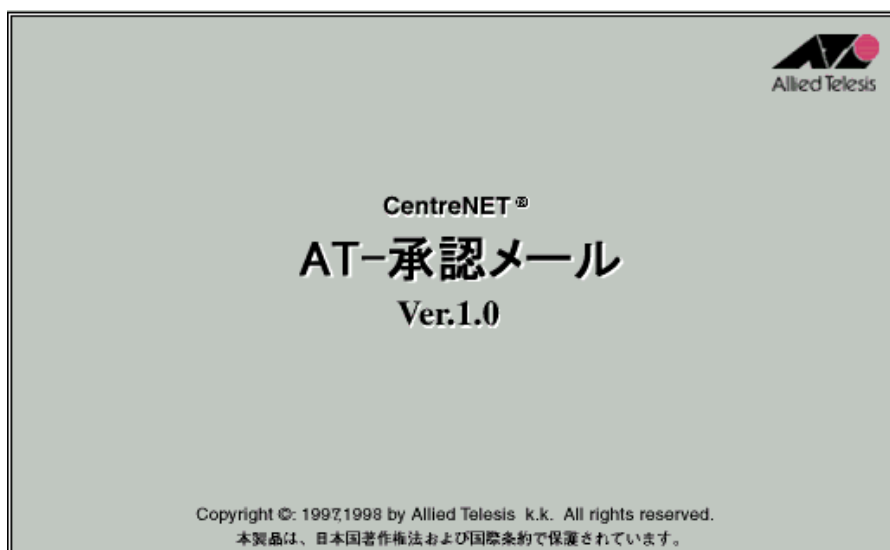


図 5-1



図 5-2

2. インストールを開始する画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。TCP/IP の設定を行っていないと警告メッセージが表示されます。必ず TCP/IP の設定を行ってからインストールしてください。



図 5-3

- 「AT-承認メールソフトウェア使用権許諾契約書」が表示されます。よくお読みになって同意する場合は「同意する」ボタンをクリックします。同意しない場合は「同意しない」ボタンをクリックしますが、その場合、セットアップは中止となります。

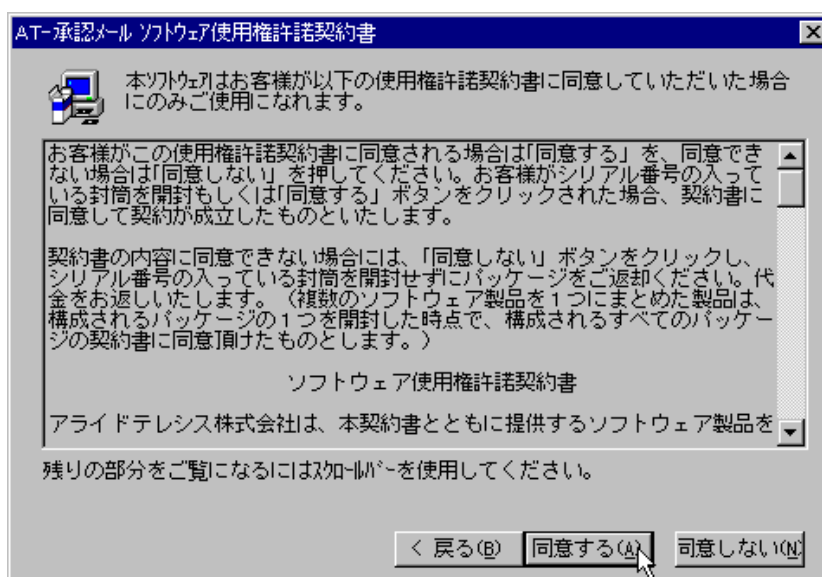


図 5-4

4. 「シリアル番号/認証キー」ダイアログが表示されます。シリアル番号と認証キーを入力して、「次へ」ボタンをクリックします。シリアル番号と認証キーはAT-承認メールのパッケージの中にシールとして添付されている「1234-5678-9012」のような形式の番号です。シリアル番号と認証キーは対になっており、認証キーはシリアル番号が正しいことを証明する「鍵」です。



図 5-5

5. 「セットアップタイプ」ダイアログが表示されます。メールユーザとしてインストールする場合、一般クライアント用を選択してください。メールユーザの管理者の場合は、下の画面での「管理者用」2つのどちらかを選択してください^{注1)}。「次へ」ボタンをクリックします。



図 5-6

注1) 管理ツールは、ファイルサーバがあるWindowsNTにインストールします。その場合は、ユーザ「administrator」でログオンしてください。また、AT-承認メールを弊社 AT-Mail Server と組み合わせてご使用になる場合、AT-Mail ServerがインストールされているWindowsNTにインストールしてください。この管理ツールは、AT-Mail Server のユーザー一括登録機能と連携できるので、より一層ユーザ管理が容易となります。

6. 「マニュアルのコピー」ダイアログが表示されます。マニュアルをハードディスクにコピーする必要がある場合は、「コピーしない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



図 5-7

7. 「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。インストール先ディレクトリに表示されているディレクトリにインストールされます。このディレクトリであれば「次へ」ボタンをクリックします。他のディレクトリにインストールする場合は「参照」ボタンをクリックして目的のディレクトリに変更してください。



図 5-8

8. 「プログラムフォルダの選択」ダイアログが表示されます。ここではどこのプログラムフォルダにプログラムアイコンを追加するか指定をし、「次へ」ボタンをクリックします。WindowsNT 3.51 の場合、プログラムフォルダはグループに読み替えてください。
5. で「管理者用：管理ツールのみ」を選択した場合は、以降の9.10.11の画面は表示されず、12.のファイルのコピーが開始されます。



図 5-9

9. 「スタートアップへの登録」ダイアログが表示されます。「登録する」を選択するとWindowsを起動する度に承認メールが自動で起動するようになります。「次へ」ボタンをクリックします。



図 5-10

10. 「ユーザ情報の管理方法」ダイアログが表示されます。お使いのコンピュータを複数の人が使用する場合は、「ネットワーク上に一括管理」を選択してください。お使いのコンピュータを1人で専有する場合は、「ローカルディスクに管理」を選択してください。「次へ」ボタンをクリックします。
5. で「管理者用：管理ツール+メールクライアント」を選択した場合は、このダイアログは表示されません。「ネットワーク上に一括管理」に自動的に設定されます。



図 5-11

11. 10. で「ネットワーク上に一括管理」を選択した場合のみ、「全ユーザ共有フォルダの設定」ダイアログが表示されます。通常は「M:¥」のまま「次へ」ボタンをクリックしてください^{注2)}。



図 5-12

注2) UNC(¥#machinename¥sharename)形式は使用できません。Mドライブ以外にするには、「3. インストールの準備」の「ネットワークドライブの割り当て」の項を参照してください。

ネットワークドライブの割り当てをしていないと、以下のダイアログが表示されますが、「はい」をクリックして先に進み、インストールが終わった後で、割り当ててもかまいません。割り当て方法は、「3.インストールの準備」を参照してください。

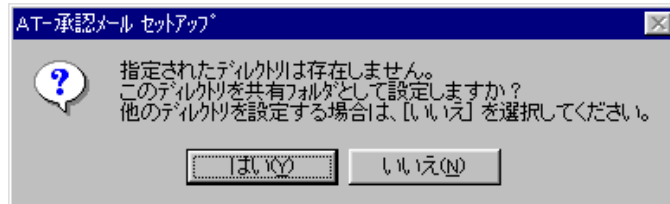


図 5-13

12. ファイルのコピーを開始します。



図 5-14

13. ファイルのコピーが終了すると「インストール完了」ダイアログが表示されます。

Windows95/98にインストールしている場合は、「終了」ボタンをクリックしてください。ダイアログは閉じられ、「README」ファイルが表示されて、引き続き「AT-承認メール」の「環境設定ウィザード」ダイアログが起動されます。

ネットワークドライブの割り当てをしていない場合は、「AT-承認メールを起動する」のチェックを外し、「終了」ボタンをクリックしてください。「3. インストールの準備」を参照して、ネットワークドライブの割り当てをしてから「AT-承認メール」を起動してください。

WindowsNTにインストールしている場合は、「AT-承認メールを起動する」のチェックを外し、「終了」ボタンをクリックしてください。ダイアログは閉じられ、「README」ファイルが表示されます。WindowsNTでは、通常のユーザでWindowsNTにログオンしなおして、「環境設定ウィザード」を実行します。

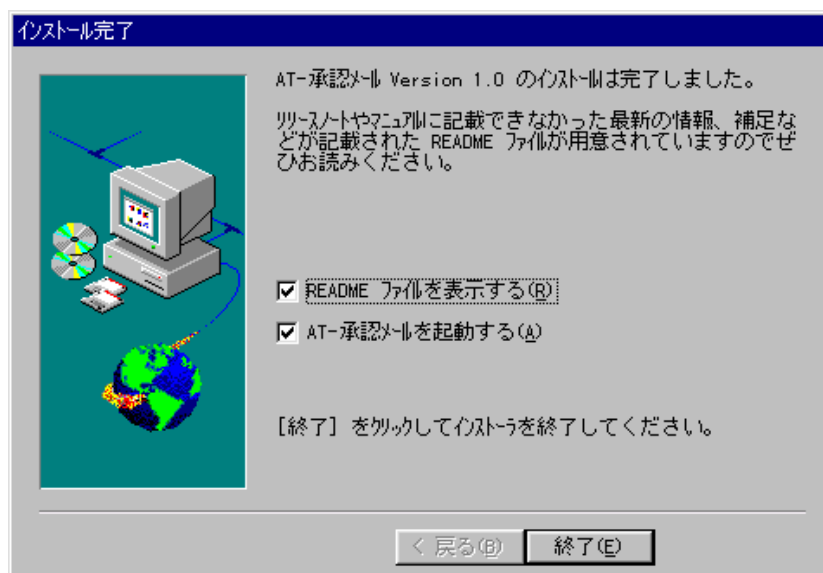


図 5-15

14. 「自動実行ユーティリティ」の「終了」ボタンをクリックしてください(図4-2)。「自動実行ユーティリティ」ダイアログが閉じます。

Windows95/98にインストールしている場合は、そのまま「4. AT-承認メールの環境設定」に進んでください。

WindowsNTにインストールしている場合は、いったんログオフし、再度通常のユーザ(例えば「sasaki」で)ログオンしてください。「4. AT-承認メールの環境設定」に進んでください。

6. AT-承認メールの環境設定

インストールで「ローカルディスクに管理」を選択した場合のみ、以下の「環境設定ウィザード」が表示されます。インストールで「ネットワーク上に一括管理」を選択した場合は、「環境設定ウィザード」は起動しません。ユーザ名とパスワードを入力するだけでメールサーバへ接続できます。(あらかじめ、管理者が「ユーザマネージャ」で設定しておく必要があります。詳しくは別冊の「ユーザ管理ガイド」を参照してください。)

「AT-承認メール」をインストールして初めて実行するとき、「環境設定ウィザード」ダイアログが起動されます(環境設定が終了したら、次回起動時には表示されません)。このダイアログのメニューに従って、「AT-承認メール」の基本的な設定を行います。ここで入力した内容は、「AT-承認メール」ウィンドウの中の「環境設定」に反映され、後で変更することも可能です。

1. Windows95/98 をご使用の場合は、手順3へ進んでください。

WindowsNTの場合は(インストールのときに項目「AT-承認メールを起動する」をチェックしなかった場合は)以下の手順に従いAT-承認メールを起動してください。

2. WindowsNT 4.0 をご使用の場合は、「スタート」「プログラム」「CentreNET AT-承認メール」「AT-承認メール」をクリックしてください。

WindowsNT 3.51の場合は、「プログラムマネージャ」の「CentreNET AT-承認メール」グループの「AT-承認メール」アイコンをダブルクリックしてください。

3. AT-承認メールのグリーティングメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

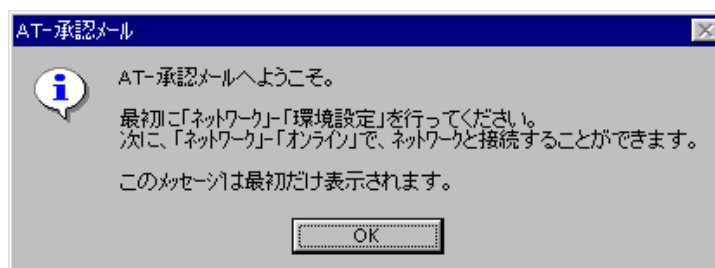


図 6-2

- 「環境設定ウィザード」ダイアログが表示されます。環境設定に必要な情報について記述されています。不明な情報はネットワーク管理者、またはインターネットプロバイダに問い合わせてください。「次へ」ボタンをクリックします。

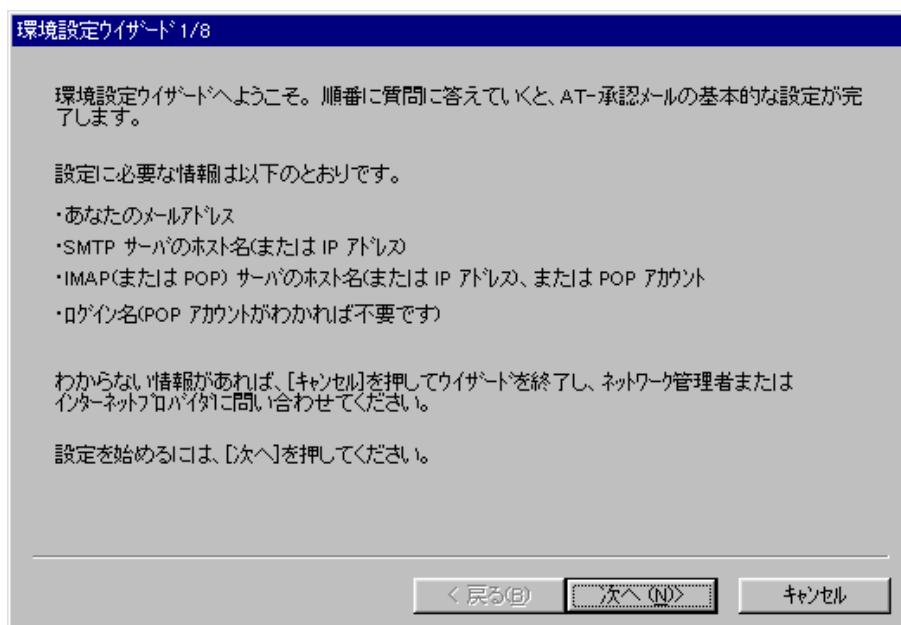


図 6-3

- メールサーバがサポートしている受信プロトコルを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。ここでは、「POP3」を選択すると仮定します。「IMAP4」を選択した場合、以下の手順に従って「POP3」を「IMAP4」に読みかえて実行してください。基本的には、入力する項目は同じです。

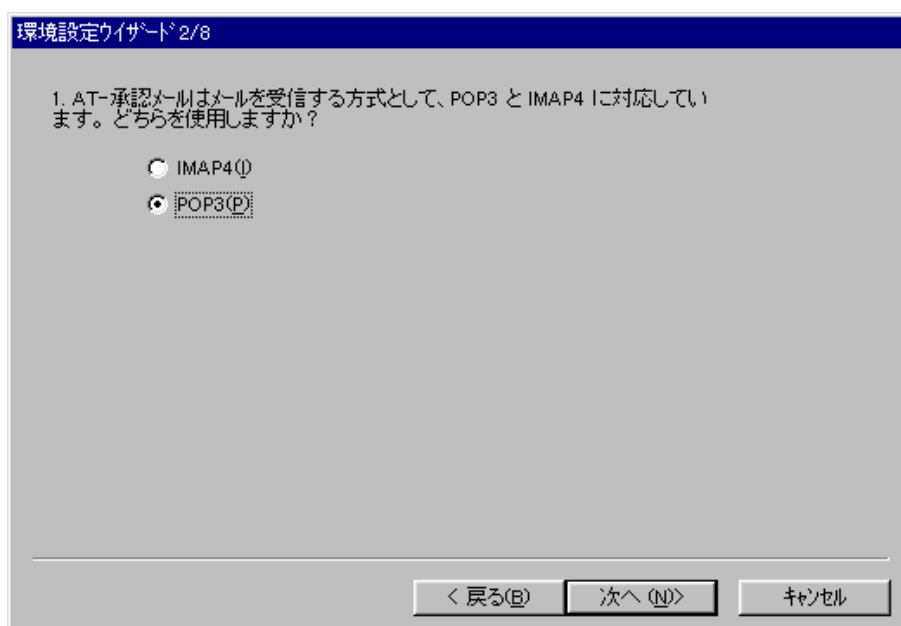


図 6-4

- 各サーバのホスト名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。ここでは、POP3サーバ（またはIMAP4サーバ）のホスト名を「pinokio.tw.allied-teleasis.co.jp」と仮定します。以下のダイアログは、受信プロトコルがPOP3の場合です。通常、POP3（またはIMAP）サーバとSMTPサーバは同じホストを使用します。

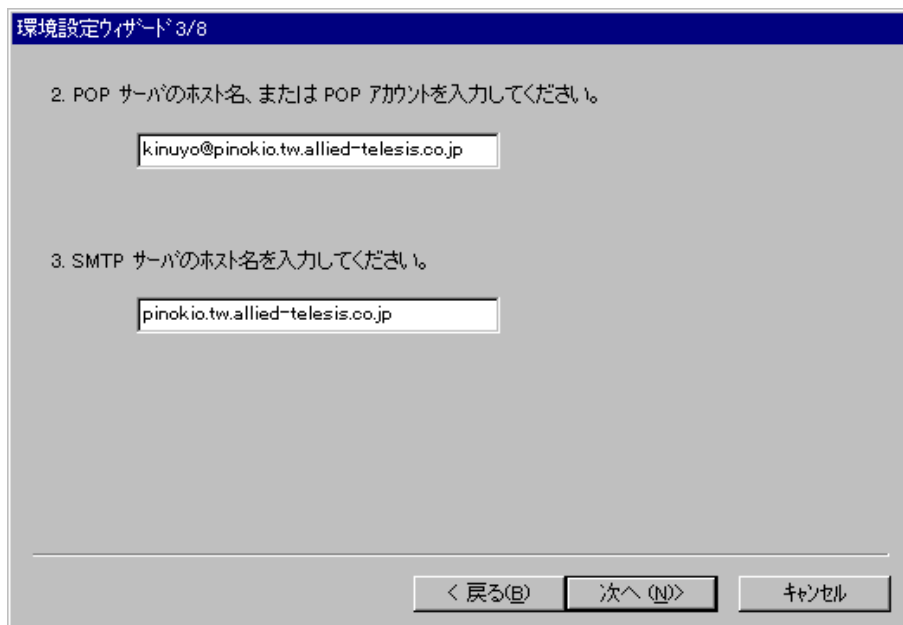


図 6-5

POP3を使う場合、「2. POP サーバのホスト名、または POP アカウントを入力してください。」の欄には POP アカウント（例えば、「kinuyo@pinokio.tw.allied-teleasis.co.jp」）を入力することができます。ここで POP アカウントを入力すると、次のダイアログの「ログイン名」欄に自動的に表示されます。IMAP4を使う場合、メールサーバのホスト名（例えば、「pinokio.tw.allied-teleasis.co.jp」）を入力してください。

- サーバのログイン名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

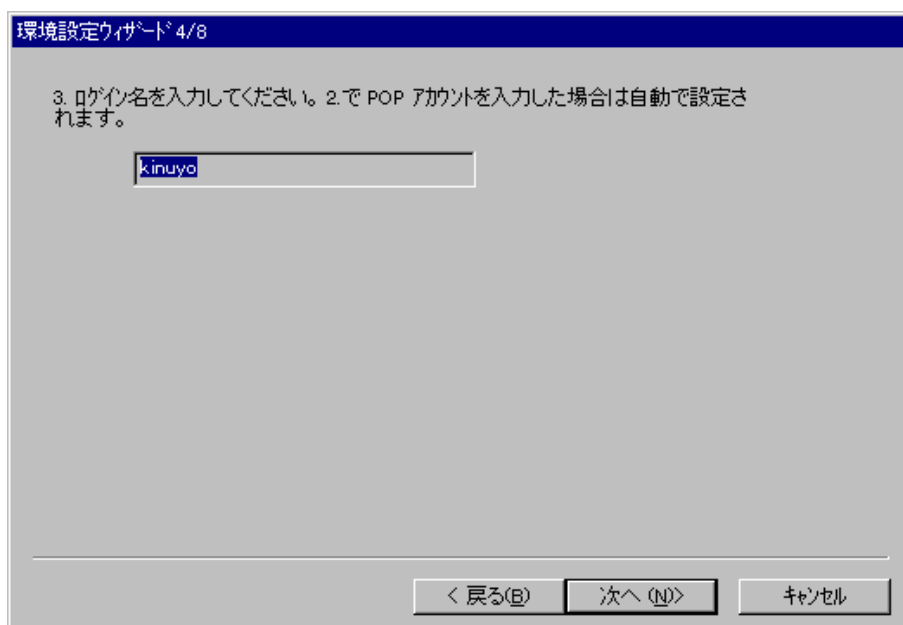


図 6-6

8. メールアドレスと本名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

環境設定ウィザード 5/8

5. あなたのメールアドレスを入力してください。(例 eiichi@allied-telesis.co.jp)

kinuyo@allied-telesis.co.jp

6. 本名を入力してください。この名前はメールの From 行に表示されます。ローマ字で入力することをお勧めします。(例 Eiichi Sugiyama)

Kinuyo Higashimura

< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

図 6-7

9. ここで設定した環境や、メールおよびアドレス帳などは以下に指定したディレクトリに保存します。「次へ」ボタンをクリックします。

環境設定ウィザード 6/8

7. AT-承認メールがデータを保存するディレクトリを指定してください。

#PROGRAM FILES#ALLIED TELESIS#ATSMAIL#Mail#kiwi 参照(R)...

< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

図 6-8

10. お使いのネットワーク環境にあわせて接続方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。次のダイアログは、「POP3」の場合です。「IMAP4」の場合は、「9. サーバにメールを残しておきますか？通常は残しておく必要はありません。」のラジオボタンは表示されません。

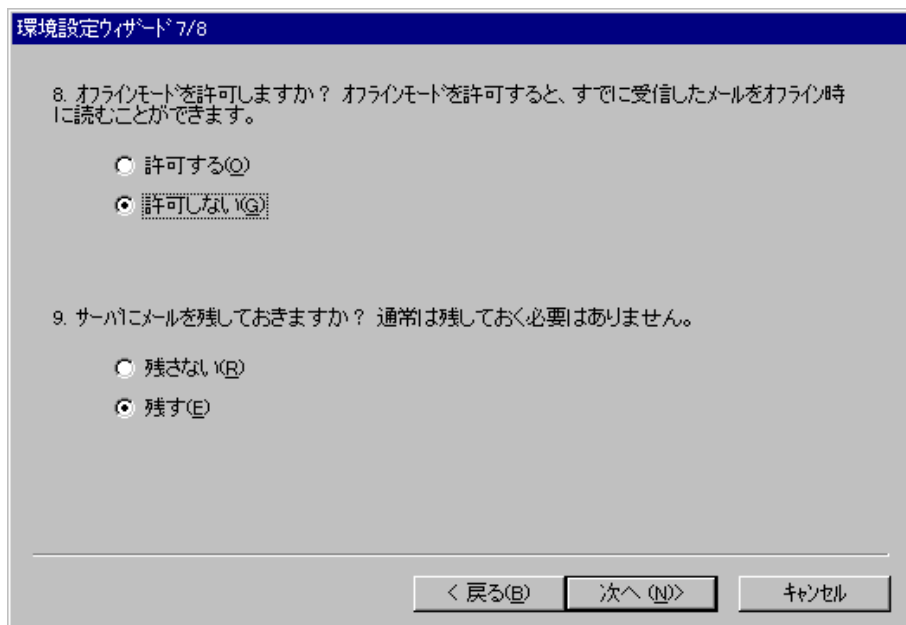


図 6-9

11. 環境設定が終了すると、以下のダイアログが表示されます。「完了」ボタンをクリックして、「環境設定ウィザード」ダイアログを閉じます。

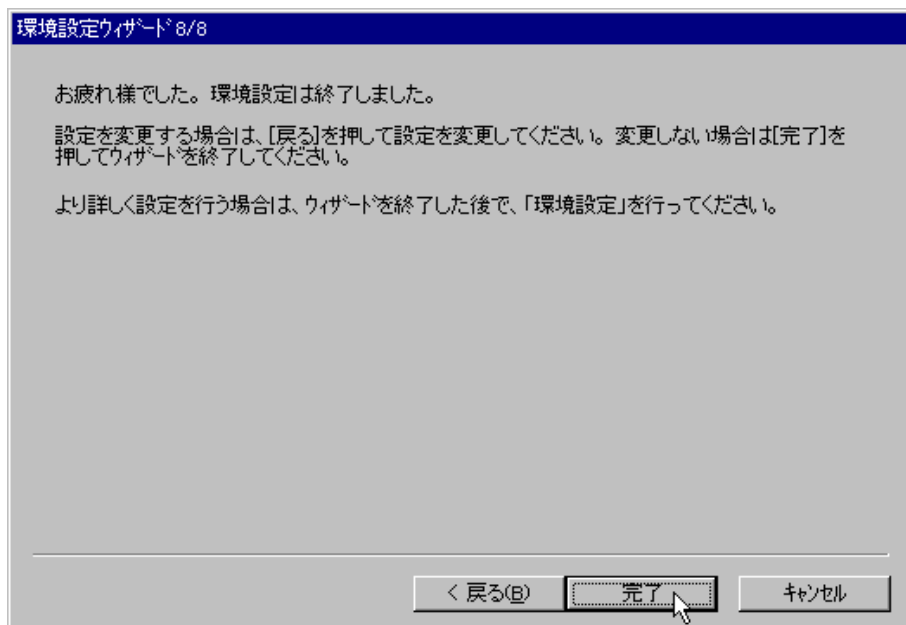


図 6-10

メールサーバへの接続

12. 「接続」ダイアログ表示されます。インストール時の設定で2通りのログイン方法があります。

「ローカルディスクに管理」を選択した場合
パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
します。



図 6-11

「ネットワーク上に一括管理」を選択した場合
ユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタン
をクリックします。



図 6-12

13. メールサーバへ接続します。接続に成功すると、「AT-承認メール」ウィンドウの簡易
ログに接続が成功したことが表示されます。

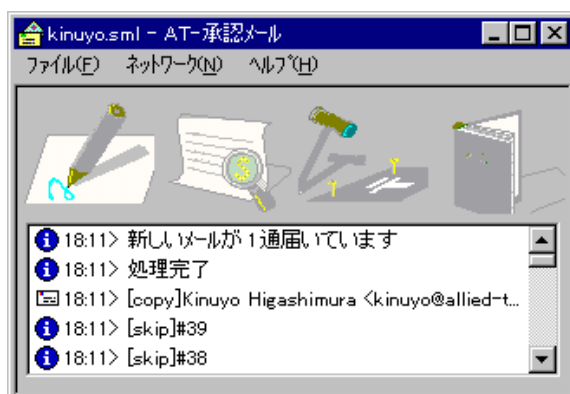


図 6-13

14. これで、「AT-承認メール」のインストールの手順は完了しました。
AT-承認メールの使い方については、「AT-承認メール User's Manual」を参照してく
ださい。

7. Acrobat Reader のインストール

1. お使いのコンピュータでAcrobat Readerがインストールされているかどうかをご確認ください。

自動実行ユーティリティ (図 4-2) の「User's Manual を読む」をクリックし、エラーを警告された場合、Acrobat Reader **はインストールされていません**。この章の手順を実行し、Acrobat Reader を実行してください。

自動実行ユーティリティ (図 4-2) の「User's Manual を読む」をクリックし、User's Manual が表示された場合、Acrobat Reader **は既にインストールされています**。この章の手順を実行する必要はありません。

2. 自動実行ユーティリティ (図 4-2) の「Acrobat Reader のインストール」をクリックしてください。下記のダイアログが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。以後、インストーラが表示するメッセージにしたがってください。デフォルトでは、Acrobat reader は、「C:¥Acrobat3¥Reader」にインストールされます。

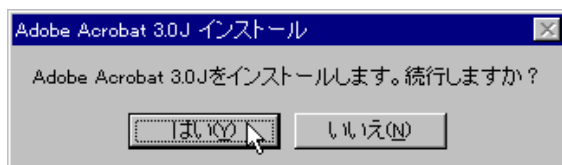


図 7-1

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

1998-99© アライドテレシス株式会社

マニュアルバージョン

1997年 10月 14日	Rev.A	initial release
1999年 2月 8日	Rev.B	ユーザー一括管理機能の追加

商標について

CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Microsoft、Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。